

国際コンファレンス アジア市場の統合と金融革新



セッション3：アジアの市場統合 ～競争か、協調か～

アジアの市場統合 ～競争か、協調か～

齊藤 惇

東京証券取引所グループ代表執行役社長

概要

世界経済におけるアジア地域の重要性の高まりを背景に、今こそ世界をリードすべきアジア、とりわけ金融資本市場の今後のあり方について考える時期に来ている。

以前、欧米型市場間競争モデルにより、市場分裂が進展し、期待されていた競争の便益は中間業者に篡奪され、社会的なコストが上昇するだろうと予測したが、予想どおりの結果となり、現在は規制の見直しが行われている。

アジア各国はそれぞれが独自の歴史や文化を持っており、アジア地域特有の協力のやり方があると考えられる。短期的利益を追求するのではなく、長期的な利益及び社会全体にとっての利益を追求することがアジア地域における共通の価値観である。こうした共通の価値観を維持しながら、互いに切磋琢磨していくような体制を構築するほうがフィットすると思われる。

その長い歴史の中で蓄積してきた制度基盤やノウハウを活用し、アジア各国が Win-Win の関係を構築できるよう貢献していくことが日本の使命だと考える。